

平成 25.11.11

24時間以内完歩!

SUN—N未来100キロウォーク

日韓90人、中部巡る

「第2回SUN—N未来100キロウォーク」(未来ウォーク実行委員会主催)が9日、湯梨浜町の中国庭園燕趙園を発着点にスタートした。制限時間は24時間。韓国からの参加者を含む約90人が元気に出発した。

湯梨浜町から三朝町、倉吉市、北栄町と

歩き、琴浦町の鳴り石カフェで折り返すコース。参加者の条件は100キロを時速5・5キロ以上か、24時間以内で完歩できる人で、個人かまたは5人一組でたすきをつなぐチームで挑戦する。



元気よくスタートする参加者ら＝9日、湯梨浜町の中国庭園燕趙園前

昨年が続いて2回目
の開催で、日韓交流ウォーキング大会と位置付けられており、韓国からは12人の強者が参加している。

NPO法人未来の岸

田寛昭理事長らのあいさつに続いて参加者らが元気に出発した。岡山県津山市の大西三郎さん(60)は昨年に続いての参加で、「15時間台で歩きたい」と燃えていた。

「ウォーキングリゾート」推進

中部5市町など協議会を設立

鳥取県中部の「ウォーキングリゾート」化を推進する協議会が9

日、中部5市町や関係団体によって設立された。倉吉未来中心で開かれた総会では会長に鳥取短期大学学長で県ウォーキング協会会長の山田修平氏が就任し、今後、構成団体が連携をとりながらウォーキングを通じた観光などの発展を図ることを確認した。

山田会長は「互いに情報を共有し、助け合い、一緒に新たなことをするなどしていい中部をつくりたい」と述べた。